

案件

# 子どもの気持ちの可視化とSNS相談の実証実験について

子ども未来部 子ども青少年政策課

学校教育部 児童生徒支援課

## 1. 政策等の背景・目的及び効果

近年、子どもに関する様々な問題（子どもの貧困、いじめ、虐待、引きこもり等）が多様化、複雑化しています。いじめの認知件数や虐待の相談件数は、増加の一途をたどっており、昨今ではヤングケアラーの新たな課題なども浮き彫りになってきています。そこで、いじめや不登校等さまざまな子どもの課題について、未然防止、早期発見・早期解決できるよう、ICTを活用した子どもが発するサインを見逃さない仕組みづくりとして、子どもがより相談しやすくなる体制整備について実証事業を行ったうえで進めていきます。

## 2. 内容

悩みや辛い気持ちを抱えている子どもが誰にも相談できず、抱え込んでしまうことのないようにするため、児童・生徒の気持ちを可視化する機能とスマートフォンやタブレットで相談できる機能を併せ持ったシステムを構築します。

公立小・中学校の児童・生徒については、一人一台配布しているタブレットで利用できるようにすることで、担任等が子どもの気持ちの変化に気づき声かけ等をしていけるようにするとともに、身近に相談できる人がいなかったり電話では相談できない子どもが、普段使い慣れているタブレットで相談できるようにしていきます。

より良いシステムとなるよう、まずは先行して公民連携プラットフォームを活用した試行版のシステムを運用して実証実験を行い、その結果を踏まえて、本格運用に向けたシステムの機能及び相談体制を検討します。

なお、本格運用の開始時においては、18歳以下の子どもすべてがスマートフォン等でSNS相談できるシステムとします。

(実証実験イメージ図 参照)

## 【試行内容】

### ① 子どもの気持ちの可視化

児童・生徒自身が自分の気持ちや体調を「良い」「普通」「悪い」の中から選択することで自身の状況を認知・把握できるようにするとともに、選択状況を担任等が把握し、児童・生徒への声掛けなどにつなげていく。

### ② SNS相談

身近に相談できる人がいなかったり電話では相談しにくい子ども等が匿名で相談できるようにする（本名も可）。実証実験段階では教育委員会で確認・対応をし、福祉サービスに関する事など、学校以外で関わるべき相談については、子どもの育ち見守り室「となとな」に繋ぎ「となとな」で対応する。

## 【検証内容】

### ① 子どもの気持ちの可視化

入力された選択肢と子どもの状況の関連を分析するとともに、他の選択肢や入力情報の必要性のほか、選択状況や選択頻度等によるアラート機能や担任等による声掛け等を行うタイミングなどのガイドライン作成につなげる。

### ② SNS相談

相談内容や相談件数を分析し、必要な相談員の職種や人数などを検討し、相談体制の構築につなげる。

### 3. 実施時期（予定）

令和4年4月～6月	公民連携プラットフォームを活用した試行版の開発	動作確認
6月～9月末	公立小中学校（2小学校・2中学校程度）	で試行実施
10月	試行版の検証	
12月	補正予算を計上	
12月～	システム構築、体制検討	
令和5年4月以降	システム運用開始、相談事業の開始	

### 4. 総合計画等における根拠・位置付け

総合計画 基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち

施策目標 15 子どもたちが健やかに育つことができるまち

枚方市SDGs取組方針



### 5. 関係法令・条例等

次世代育成支援対策推進法、児童福祉法、子どもを守る条例 等

# 実証実験イメージ

気持ちのチェックと、健康チェックの結果を見て先生が声掛け。

・気持ちのチェック  
・健康チェック



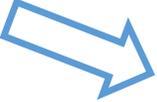
〈気持ち〉と〈健康〉について「良い」「ふつう」「悪い」から直感的に選択し、タブレットで毎日担任等へ送信



SNS 相談



学校で普段使っているタブレットから学校の先生以外に匿名（本名も可）で相談できる。



回答



# 相談体制の全体像について

## ①担任

- ・ 児童・生徒発信の相談 (不定期)
- ・ 担任発信の相談 (定期的)
- ・ その他  
例) 交換ノート、班ノート 等

匿名性なし

・気持ちの可視化

※R3『心の天気』で実証済

## ②学校

- ・ 生活アンケート (学期に1回程度)
- ・ いじめアンケート (学期に1回程度)
- ・ 担任以外への相談 (不定期)
- ・ 心の教室相談員 (小学校)
- ・ スクールカウンセラー (中学校)

匿名性なし

## ③学校以外

- ・ 子どもの笑顔を守る  
コール (平日9時~17時)
- ・ すこやか教育相談 (24時間)
- ・ LINE相談 (毎週月 17時~21時)
- ・ メール相談 (24時間 回答は後日)

教育委員会

大阪府

教育委員会

福祉部局

匿名性あり

・ SNS相談

※SNS相談は、あくまで「学校の先生以外に相談したい場合」を想定したものであり、匿名性を確保した上で行う。

# 「SNS相談」について **《ねらい》**

---

① 児童・生徒のセーフティネットにする

② 従来の市への相談（子どもの笑顔を守るコール）のハードルを下げる

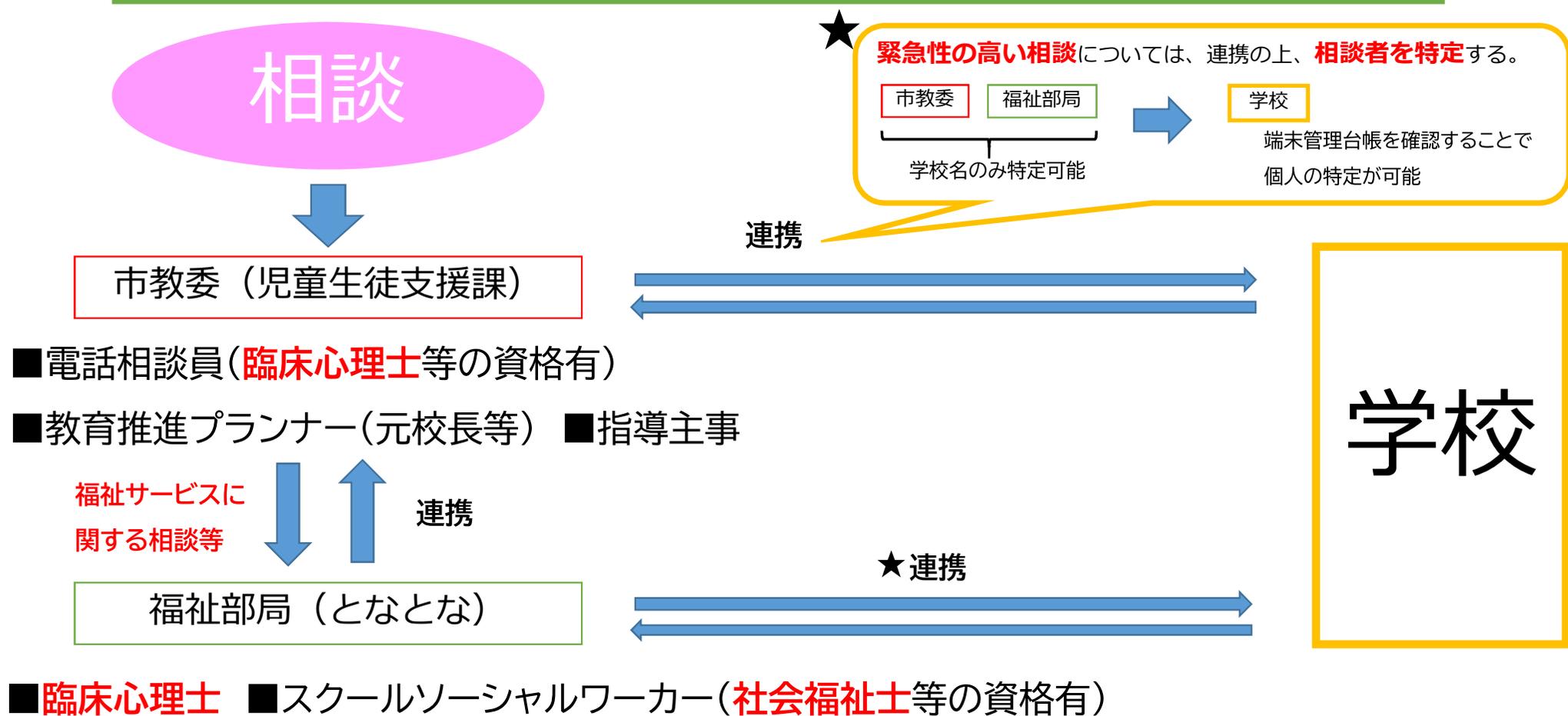
※子どもの笑顔を守るコール：R3実績 『教育安心ホットライン』 370件 『いじめ専用ホットライン』 16件  
（うち、児童・生徒本人からの相談は3件）

③ 一人一台端末の強みを活かし、大阪府のLINE相談との差別化を図る

※LINE相談：大阪府内の小学校。中学校、高等学校、支援学校に通学する児童生徒が対象。

**児童・生徒のiPadからは相談できない。**

# 「SNS相談」について 《フローチャート(実証期間中)》



※相談のルートについては、個別の相談毎に柔軟に判断し、連携の上対応する。

# 「SNS相談」について **《対応について》**

---

実証期間中の相談については、**タブレットを用いて行う。**

※**相談時間外**の子どもからの発信は、**翌営業日の返信**となる。

- 相談時間(子どもからの発信) : 制限なし
- 相談時間(相談への返信) : 9時から17時半(土日祝除く)
- 時間外の対応については、24時間対応できる相談先のリンク  
(大阪府すこやか教育相談24)を貼る。